

79 会津地鶏の卵肉利用技術

福島県養鶏試験場 育種部・平成12年度試験成績概要

- 1 部門名 畜産－鶏－飼養管理 分類コード 07-04-49000000
- 2 担当者 矢口弘子
- 3 要旨

コマーシャル肉用種である会津地鶏は産卵率が比較的良好なことから、卵用としても利用されている。会津地鶏の卵肉両用の利用技術として、今回は卵質改善および腹腔内脂肪抑制をはかるために、高蛋白・低エネルギー飼料のフェザーミール(FM)およびアルファルファミール(AM)の添加給与を試みた。

1区(対照)2区(FM5%添加飼料)3区(FM10%添加飼料)4区(AM5%添加飼料)5区(AM10%添加飼料)からなる5つの区を設け、各区28羽、4反復とし、17～60週齢に試験飼料を不断給与した。

卵黄色について4,5区で有意に高くなりAMの卵黄色改善効果が見られた。逆に2,3区では卵黄色の低下が見られた。腹腔内脂肪量は各区とも経時的増加を続けたが、5区では37～60週齢に低く推移し、53週齢時には1区との間に有意差を認め、AM 10%飼料添加の腹腔内脂肪抑制効果が示唆された。1日あたり飼料摂取量は1区に対し4,5区で高くなった。